

予算決算審査委員会 総務産業分科会報告書

平成28年6月23日

備前市議会議長 鶴川晃匠 殿

総務産業分科会
主査 山本恒道

平成28年6月23日に分科会を開催し、次の議案を審査したので議事録を添えて報告する。

記

| 案 件 | 備 考 |
|---|-----|
| 議案第80号 平成28年度備前市一般会計補正予算（第1号）中、 総務産業分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係の審査 | — |

予算決算審査委員会 総務産業分科会記録

| | | | | |
|-------|---------------|----------------|----------|-------|
| 招集日時 | 平成28年6月23日（木） | 総務産業委員会休憩中 | | |
| 開議・閉議 | 午前10時11分 | 開会　～ | 午前11時16分 | 閉会 |
| 場所・形態 | 委員会室A・B | 会期中(第4回定例会)の開催 | | |
| 出席委員 | 主査 | 山本恒道 | 副主査 | 森本洋子 |
| | 委員 | 田原隆雄 | | 尾川直行 |
| | | 津島　誠 | | 守井秀龍 |
| | | 石原和人 | | |
| 欠席委員 | なし | | | |
| 遅参委員 | なし | | | |
| 早退委員 | なし | | | |
| 列席者等 | 議長 | 鵜川晃匠 | | |
| | 参考人 | なし | | |
| 説明員 | まちづくり部長 | 中島和久 | まち産業課長 | 小川勝巳 |
| | まち営業課長 | 田原義大 | まち整備課長 | 平田惣己治 |
| | 上下水道課長 | 藤森　亨 | 企画課長 | 佐藤行弘 |
| | 日生総合支所長 | 星尾靖行 | 吉永総合支所長 | 金藤康樹 |
| 傍聴者 | 議員 | 橋本逸夫 | 掛谷　繁 | 立川　茂 |
| | | 山本　成 | 星野和也 | |
| | 報道関係 | 山陽新聞 | | |
| | 一般傍聴 | なし | | |
| 審査記録 | 次のとおり | | | |

午前10時11分 開会

○山本主査 ただいまの出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより予算決算審査委員会総務産業分科会を開会いたします。

本日の委員会は、議案第80号のうち、まちづくり部ほか関係の審査を行います。

それでは、直ちに本分科会所管部分の審査を行います。

それでは、16、17ページの労働費から何かありましたら。

○尾川委員 負担金補助及び交付金の和気地区雇用開発協会負担金の5万6,000円を説明してもらいたい。

○田原まち営業課長 この負担金につきましては、和気地区雇用開発協会が事務局となり備前市、赤磐市、和気町が主催団体として実施する東備地域新規学卒者合同就職面接会の費用に充てる負担金でございます。こちらが補正となった理由につきましては、和気地区雇用開発協会の実施事業で検討されたんですが、実際に具現化、具体化するのに、本年度の当初予算に間に合わなかったということで今回、補正予算で出させていただくことになりました。

○尾川委員 この事業内容は何なんですか、5万6,000円というのは。

○田原まち営業課長 この合同面接会というのは、地域の創生、活性化、雇用対策のため、合同で企業説明会、面接会を開催するための費用でございます。

○守井委員 いつごろの開催予定ですか。

○田原まち営業課長 10月3日の予定でございます。

○山本主査 ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

次に、16、17ページの農林水産林業費で何かありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようでしたら、次に、16から19ページで、商工費で何かありませんか。

○津島委員 委託料ですけど、まず細部説明で備前インバウンドというのを説明していただきたいと思います。

○田原まち営業課長 備前インバウンドですが、今回、交付金事業として上げております。大きく3つの事業を実施させていただきたいと考えております。

1つ目は、伝統工芸品の備前焼の販路拡大事業ということで、備前焼の購入等でございます。それと、それに関して、販路拡大に係る補助金を262万6,000円、備前焼の購入について700万円、それと旅費について37万4,000円を上げております。

2番目が、多言語パンフレット及び町歩きマップの作成ということで、多言語観光パンフレット、これを6カ国語対応で1,000万円、町歩きマップに100万円を上げております。

それと3点目が、観光施設へのモニター設備の設置費用。こちらは、大型モニターを設置する費用として200万円を備品購入として上げております。

インバウンドというのは、外国からのお客様への対応と観光客の誘致対応という意味でござい

ます。

○津島委員 予算書で、観光情報作成業務委託料1,000万円と地図が100万円。どうせ、これは業者に丸投げするんじゃないと思いますけど、知恵を絞って職員でつくってくれんもんかなあと思いますけど、いかがですか。

○田原まち営業課長 業者には、委託するようにはなるんですが、ボランティアさん、あるいは観光協会、市の職員等で知恵を絞りまして、内容についていろいろ検討をして進めてまいりたいと考えております。

○津島委員 これは、やはり入札になるのでしょうか。

○田原まち営業課長 入札あるいはプロポーザルというような形にはなるかと考えております。

○津島委員 次に、備品購入費。レンタル用伊部焼とは、何ぞや。

○田原まち営業課長 こちらは、東京、大阪等都市部に備前焼の食器をレンタルしまして、備前焼の魅力、実際にレストラン、ホテル、そういったところで使用していただきまして、備前焼に触れていただき、備前焼のよさを知っていただくという活用を考えております。

○津島委員 この700万円ですけど、大衆窯か作家か、どういう選択をされる予定でしょうか。

○田原まち営業課長 全て一遍に購入ということではなくて、実際にホテル、そういったところがどういうものを希望されているかということも調査しないといけないと思っております。そういった中で、備前焼陶友会さん等々関係者の方と協議しまして進めてまいりたいと考えております。

○津島委員 誰の作品かというのが、どっから後ろ指さされてもいけませんけえ、よう気をつけて作品の選出をしていただきたいと思います。

○田原まち営業課長 その辺を留意しながら進めてまいりたいと考えております。

○津島委員 負担金補助及び交付金、備前焼販路開拓事業補助金ですけど、なぜ市がこういう販路、売り先に補助金を出すのか、どうも合点がいかんのです。陶友会や作家が、血眼になってそういうことはせんといけんのを、なぜ補助金を出しちゃうんじゃないだろうか教えていただきたいと思えます。

○田原まち営業課長 販路開拓事業補助金につきましては、このレンタル事業と連動するものでございまして、こちらのレンタルに係る事務等を、今の想定では備前焼陶友会さんをお願いしたいと考えております。

備前焼の販路拡大の必要性なんですが、備前焼は備前市、岡山県、日本を代表する焼き物と考えております。地域の宝は守っていかなければなりませんし、備前焼が活性化することにより備前市全体も元気になるということが重要であります。この事業により、国内外へ積極的にPRして、備前焼に実際に触れてもらって使ってもらって愛着を持ってもらいまして、備前焼のファンになっていただく、こういったことにより備前市にも興味を持っていただき、ぜひ備前市にも来てもらい住んでもらう、そういったことにつながってまいればと考えております。

○津島委員 担当者も一生懸命やってくれよんじやろうけど、陶友会にも性根を入れて頑張るよ
うに言うといってください。

○田原まち営業課長 はい、了解いたしました。

○尾川委員 レンタルの備前焼なんですけど、どういうふうなところへ食器を貸そうとしとの
か、手を挙げたところに貸すんか、それともこっちからお願いしに行くんか。

○田原まち営業課長 これは、これから検討していくわけですが、実際に高級な飲食店、ホテ
ル、レストラン、そういったところをターゲットにしていきたいと考えております。東京事務所
であるとか、実際に今、作家さんのほうで取り組まれているANAホテル、そういったところ
でも、そういった事業展開をしてるというようなことも伺いしておりますので、そのあたりを参
考に進めてまいりたいと考えております。

○尾川委員 今、津島委員も話をされとったんですけど、若手がいろいろ活動されて、そういう
人に補助を、それを陶友会ということになってしまうと偏ってしまうんじやねんかという心配を
するんです。だから、そういう若手の人とか、それから私も一般質問でちょっと話したように、
臼井館長なんかのアドバイスを受けても、どういう発想でレストランとか高級料理屋さんをター
ゲットにしとんか、それとも備前焼の食器ばかりに限定しとんか、限定せずにもっと備前焼その
ものを何か、販路は別かな、ただ、レンタル備前焼との関連事業ということで、陶友会というふ
うな話があったんですけど、そのあたりをもう少し踏み込んで、任せっきりにするんじやなし
に、あれだけ芽生えてきょう若手の力を発揮させるようにしてもろうて、市も丸投げじやなし
にある程度、方向性というものを定めていくべきじゃねえかと思うんですけど。

○田原まち営業課長 そのあたりも参考にして、若手さんのやる気を引き出すようなことも考え
てまいりたいと思います。

○尾川委員 そうすることで、いろいろ見方があって偏りもあると思うんですけど、できるだけ
陶友会に、昔の頭の古い感覚じやなしに新しい感覚で備前焼の販売促進とか、あるいは魅力づく
りとかというのに、余り任せっきりで昔からの流れでいだけじやなしに、要するに陶友会には
もう丸投げじやなしにやってほしいと思う、ある程度干渉しながら。

○田原まち営業課長 そのあたり、留意しながら考えてまいりたいと思います。

○石原委員 財源のところの加速化の交付金ですが、その充当されとる内訳も資料でいただき
まして、ありがとうございます。そのうちの一つですが、17ページの普通旅費もここで充てら
れとんですけど、ここで言うところの旅費について御説明いただければと思います。

○田原まち営業課長 旅費の37万4,000円については、職員の備前焼販路拡大に係る東
京、大阪、名古屋への出張の旅費でございます。いずれも4往復分ということで上げさせていた
だいております。

○石原委員 地方創生と観光が結びつくと国からも交付金をいただけるんですけど、本当にたく
さんお金がかかるんだなというのを改めて実感するんですけども、先ほど御説明のありました
観光情報作成業務委託料の1,000万円が6カ国語でのパンフレットと言われたんですが、こ

ここで業務を委託しますと、業者さんが6カ国語できれいなパンフレットをつくって印刷まで仕上げてくださいという認識でよろしいですか。

○田原まち営業課長 はい、印刷まで仕上げるとい形です。

○石原委員 印刷部数というのは現状でどれくらいを想定されとんでしょうか。

○田原まち営業課長 印刷部数ですが、2万部を考えております。

○石原委員 それから、先ほどありましたマップのほうは現時点では部数はどれくらいを考えておられるのでしょうか。

○田原まち営業課長 マップのほうは、作成が伊部、閑谷、日生、八塔寺等、そういった地区に配付する、活用するようなものでございます。こちらに関しては、ボランティアガイドさんが説明をするときに活用するというようなもので考えております。1,000部程度で、あとはいろんな変更があればこちらでも直せるような形で考えております。

○石原委員 それから、施設備品のところなんです、大型ディスプレイがこのうちの200万円ということなんです、これはどこへ設置する予定なんでしょうか。

○田原まち営業課長 伝産会館の1階と備前観光協会を予定をしております。

○石原委員 伝産会館の1階の観光関連のところへ1台ですか。

○田原まち営業課長 はい。今、考えておるのは、1台ということで考えております。

○石原委員 それから、財源のところ、まちづくり応援基金からも恐らく繰り入れかとは思いますが、それが頭島のレストランへ充てられと思うんですが、市としてどの指定されとった寄附金を頭島レストランへ使うのか、ここじゃわからんですか。

○田原まち営業課長 私どものほうでは、把握しておりません。

○石原委員 じゃあ来週の委員会でお尋ねしたいと思います。

○田原委員 さきの大型ディスプレイ、伝産会館と備前観光協会ですか。日生のサンバースということ。

○田原まち営業課長 そのように考えております。

○田原委員 わかりました。

次に、多言語パンフレットを2万枚つくられるようですけども、まず日本語のパンフレットがどんなものなのか、日本語よりも外人向けは多少は違うんかもわかりませんが、まず今、備前市が何を売ろうとしているのか、何を備前の観光としておるのかということをお尋ねします。

○田原まち営業課長 日本遺産になった閑谷学校、備前焼、それと風光明媚な日生諸島、瀬戸内海国立公園、このあたりは特に国のほうも、ナショナル公園としてPRしていくということを強く打ち出しておりますので、海外へ向けてその美しさをPRしていきたいと思っております。

また、里海、里山、そういったことにも触れていきたいと考えております。

また、食、そういったことの魅力、そういったことも重要であると考えております。

○田原委員 それは、結構なことです。

ただ、私は予算審議の段階、またその当時の一般質問でも言わせてもらいましたが、観光協会

というのがあるんです。3つの観光協会を一本化して、当時、観光協会を運営するのは1, 200万円から1, 500万円かかるでしょう、とにかく一つにまとめてくださいというて執行部が行政主導して一本化したわけです。にもかかわらず、330万円しか観光協会に補助金を出してないんです。市長どうですかというたら、備前市の人口規模ではその程度で十分だと、観光協会は、自分たちの会員のために働きさえすればいいんだと、こういう答弁でした。聞いておられますか。

○田原まち営業課長 はっきりとは聞いたわけではないんですが、観光協会とも連携しながらやっていきたいと考えております。

○田原委員 とにかくそういうことなんです。まず、市長と観光についての定義をもう少しよく検討してください。それから、さっき、旅費があったじゃないですか。それも職員の皆さんの旅費とこういうことですが、観光で飯を食ってる人たちが観光協会というものを組織しとんでしよう。観光は、その人たちの、自分たちの飯の種ですから一生懸命考えるはずなんです。そういう人たちの意見とすり合わせて、さて備前の観光はどうあるべきかということも含めてパンフレットづくりに精を出してもらいたいと。自分のところの会員の面倒さえ見ときゃえんじやと突っぱねとるわけじゃから。逆に言うたら、担当者が観光協会のことも全部ひっくるめて、世界を相手に全部やったるんじやという窓口にならんといかんよ。それはちょっと大変だと思うんで、餅は餅屋の分野もあるんで、その辺に門戸を開いていいパンフレットをつくり、そしてそれをいろいろな外国語に翻訳する、そういうようなことが大事じゃないかなと思われるんで、老婆心ながら忠告と提案をしておきます。答弁があればお願いします。

○田原まち営業課長 パンフレット作成に当たりましては、十分関係される方の意見を聞きながら実施していきたいと思っております。

○守井委員 この事業が地方創生加速化交付金事業ということで、国の交付金を受ける、ほかの事業と一緒にセットになっておるといことなんですけれども、前回のお話では、申請中ということのようなんですけれども、交付決定をいつごろ受けられる予定なのかだけ教えてください。

○田原まち営業課長 交付決定の時期ですが、これはまだ聞いておりません。ただ、前回の決定期間を見ますと、おおむね2週間前後ではないかと思うんですが、今回については、まだいつかというのは伺ってはおりません。

○守井委員 大体いつごろから事業着手ができるという考えでおられるのでしょうか。

○田原まち営業課長 交付決定が出ましての話だと思いますので、7月の中旬以降になるかと思っております。

○石原委員 委託料の会場設営等委託料で、レストランのオープニングイベントとのことですが、現段階でいつごろのオープンを目途に考えておられるんですか。

○田原まち営業課長 工事が終わり次第、早目にということなんです、工事がやはり9月中旬以降になるんじゃないかなと思っております。秋の瀬戸内国際芸術祭等の期間には間に合わせたいと考えておりますので、10月ぐらいか9月の末ぐらいにはオープンできたらなと考えており

ます。

○尾川委員 レストランの関係なんですけど、消耗品費それから光熱水費、そういったいろいろの費用が上がってんですけど、今後、100%補助でいくんか、これからの運営をどう考えとんですか。レストランに来ていただいて、有名シェフが来て立派にしていくんじゃないかと思うんですけど。いつまでも市が負担して自立でやらんのか、その辺をちょっと聞きたい。

○田原まち営業課長 自主運営ということでお願いしたいと考えております。シェフ等への報酬であるとか、委託料、そういったことは考えておりません。光熱水費について、今回、上げているのはオープンまでの間の費用ということで、それ以降については自主運営をしていただくように考えております。

あとは市で盛り上げるためにイベントを打つであるとか、そういったときには、若干の委託料的なものを上げて教室をしていただくとかも考えたらどうかと思っております。

○尾川委員 所管事務調査のような感じもするんですけど、その辺も明確に、どこへか線を引いて、吉永のダムの近くのレストランも家賃を安くしたんか、ただじゃなかったと思うんですけど、そういう優遇策をやっとるケースはあると思うんですけど、立ち上げまでは別としても、いつまでもというのは、慎重にやってもらわんと、どうしても来ていただいとるような感じに聞こえてならんのです。向こうから来てやろうかというふうな、私は瀬戸内のも知ってんですけど、向こうから、ここがええから来るというふうな前向きなスタンスやったんです。今回の場合は、余りそういう雰囲気がないかなというもんじゃなから、後また経営状態がよくなかったらやめるとしたら、また補助を出しますとかというふうなことも、きちっとよう明確にしてもらいたいと思うんですが。この点をお聞きします。

○田原まち営業課長 前回の委員会でも、誰が来るのかという御質問がありましてお答えをさせていただいております。シェフは、寺田真紀夫さんとおっしゃられる方で、岡山県の方です。大変一生懸命、地域のことを考えておられまして、今回の頭島レストランに関してましても、シェフとして備前市の地域おこしのために何ができるかということ真剣に考えていきたいということで、日生の五味の市の朝の市、それにも二、三度、足を運ばれております。また、この前の里海のアマモサミットのときにも、勉強ということでこちらのほうに来られて、地域のことに学ぼうというような姿勢でもってやっておられます。よろしく願いいたします。

○田原委員 確認します。じゃあ、完全に公設民営ということで委託料は払わない、指定管理料は払わないというふうに解釈していいんですか。

○田原委員 そうです。ただ、財産貸し付けということで、市の規定によって財産を貸し付けるということで、賃料は若干ですが入ってくるようにはなりますが、それ以外については全てシェフの運営というような形でお願いするように考えております。

○田原委員 じゃあ、賃料をもらう貸し付けをされるということですね。

○田原まち営業課長 はい、そうです。

○山本主査 暫時休憩します。

午前10時47分 休憩

午前11時06分 再開

○山本主査 休憩前に引き続き分科会を再開します。

次は、土木費の道路橋梁費、18、19ページの土木費の住宅費とで何か。

○津島委員 道路橋梁費の委託料なんですが、香登4号線的设计委託料は幾らでしょうか。

○平田まち整備課長 補正予算書にありますとおり2,578万円、これが全て測量設計の委託料でございます。

○津島委員 細部説明は、香登4号線ほかとなっておりますが、これは印刷間違いでしょうか。

○平田まち整備課長 濟いませぬ、説明不足でございました。同じ路線と言えど同じ路線なんですけども、南のほうに非常に道路が屈曲しとる箇所がございます、そちらを隅切りになるような対応が必要だということで、今回の委託に含めてそこも工法等を検討するようにしているんですけども、ここは路線が違っておりまして、西鶴山5号線ということで、そういう意味での香登4号線ほかという表現でございます。

○津島委員 私は総務産業委員会の所属ではなかったんじゃけど、5月19日の資料をしてみますと、今の250号線を赤線で引張とんですけど、これは幅員は幾らですか。

○平田まち整備課長 拡幅しようとしている幅員はどうかという意味かと思いますが、最低7メートルくらいにはしたいというふうを考えております。あくまで最低幅でございます。もし可能であれば、8メートル、9メートルと広くできる範囲でしたいというふうには考えております。

○津島委員 これには森の木川という川があるんですけど、どういう計画をしとん。森の木川に対して西側へ広げるつもりかな、どんなですか。

○平田まち整備課長 そのあたりもこれから、予算をいただければ発注をする、その業務の中で候補検討をしていただきたいというふうを考えております。お配りしている資料のほうには、参考図ということで川を西へスライドさせるような絵を描いておりますが、これも一つの方法でございますし、それから川へふたをかけるような形で暗渠にしてしまうといったような方法も検討の余地があるのではないかと思います。いずれにしても、幾らか考えられる方法の中で最適なものを選択したいということで、そのあたりをこれから委託をする業務の中で候補検討していただくという、そういう予定でおります。

○津島委員 この計画では、一番煩うのは森の木川の踏切なんじゃ。JRの踏切はどのような拡幅を計画されとんでしょうか。

○平田まち整備課長 御指摘のとおりでございまして、一番大きな課題になってこようかと思っております。こちらとすれば、全線同じ幅で拡幅をしたいというふうを考えてございまして、JRとの協議も実は既に始めてございまして、やはりなかなか簡単にはいきそうにないという感触でございます。JRとすれば、踏切は安全上ネックになるので、できるだけ減らしたいという考え方のようございまして、踏切をそのまま拡幅をするというのは、どうしてもなかなか積極的に考えていただけないといったようなことがあって、もしするんであれば、ほかの踏切をできるだけ廃止を

してほしいとか、候補検討にしてもまずは一番に高架橋だとかアンダーパスといったような方法を考えろと、それでどうしても無理ならやむを得ずというような形で拡幅という流れになっていくようでございますので、そうした検討等も必要になりますし、どうしても協議等にかなり時間がかかってしまうんじゃないかと考えております。

それからまた、そうしたことに係る費用も全て市の負担ということになりますと、事業費につきましてもかなり大きなものになるのではないかとということで、大きな課題にはなるんですけども、ただ年数がかかろうとも、こちらとすれば何とか進めていきたいというふうには考えております。

現状では、踏切幅が5メートルほどございますので、大型車でも、離合は無理なんですけども、とりあえず通行は可能だということで、前後の道路部分だけでも広がれば待ち受けなりして何とか通行は可能なので、そういう形でしのぎながら何年かかけてでも拡幅したいというふうを考えているところでございます。

○津島委員 この絵を見とったら、横田橋まであと100メートルちょいのような気がするんじゃないけど、全線は整備をしないのでしょうか。

○平田まち整備課長 実は、前回の総務産業委員会でもそうした御指摘をいただきました。こちらとすれば、当面、市営の企業団地を造成しているこの事業に合わせてという考えがあったので、団地の入り口の道路のところから2号線までの間ということで考えていたんですけども、今言われましたような御指摘もいただきましたので、せっかくの機会ですし、もし今回、委託料をいただければ、その検討の中では横田橋の市道のところまで、まず計画については検討したいというふうには思っております。

○津島委員 1万坪ほどこれから埋め立てをするんじゃないけど、やはり横田橋のいびつな道を一番に整備しとかにやあいけん事項じゃないんかと思えますけど、それでこれは、もうこの道ができたら、ミサワも積水も全部、今度この香登4号線へ流れるということですか、いかがですか。

○平田まち整備課長 交通の流れがどうなるかというところまではつかんでないんですけども、県道もありますから両方へ分散をしていくという形になるのではないかなというふうには思いません。

御指摘のように、横田橋近くの屈曲部分なんですけど、先ほどのお話で踏切のほう年数がかかるといったようなこともございますから、それまでの間は、当面、むしろ逆に、こちらのほうへ流れていただくといったようなことも必要かもしれませんので、こちらの部分を逆に、優先的に先に進めることも検討する必要があるのではないかとこのふうには思います。

○津島委員 全て大型のトラックですから、混乱せんように賢明なる処置をしてちょうだい、お願いします。

○平田まち整備課長 ありがとうございます。しっかり検討したいと思います。

○山本主査 ほかに。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で本分科会所管部分のうち、まちづくり部ほか関係の審査を終了します。

以上で予算決算委員会総務産業分科会を閉会いたします。

午前 11 時 16 分 閉会